

七理 美知子

- | | | | | | | |
|---|-------|--------|------|--------|--------|--------|
| 1 | 昭和二十年 | 二月二十五日 | 二十年 | 五月三十日 | 久米川、福光 | 二部五、六年 |
| 2 | 二十年 | 五月三十一日 | 二十年 | 十一月三十日 | 福光 | 二部六年 |
| 3 | 二十年 | 十二月一日 | 二十一年 | 二月二十日 | 福光 | 二部六年 |

戦争という非常時下には、親元を離れて、一年半もの長い期間を疎開地で集団生活を送ったということとは、私の人生の中でも大きな意味を持つ貴重な体験でした。そこで毎日書いたこの絵日記は、自主的にしたというものではなく必ず書かなければならなかったという意味で、どちらかといえば、勉強に近いようなものでした。そのため、内容、書き方なども「よい子」的な面が強いかもしれませんが当時の生活を偲ぶかけがえのない記録となりました。

昭和六十三年八月記す

栗田 美知子